

ユビキタス社、WPS Registrar 機能を追加した評価版の提供開始 ～Wi-Fi Direct で必須となるアクセスポイント側の機能を「Ubiquitous WPS」として提供～

株式会社ユビキタス(本社:東京都新宿区、代表取締役社長:三原 寛司、以下ユビキタス社)は、無線LANのかんたん接続を実現するための規格であるWPS(Wi-Fi Protected Setup)において、アクセスポイント側での実装に必要な「WPS Registrar(ダブリューピーエス レジストラー)」の開発を行い、新版の無線LAN向けソリューション「Ubiquitous WPS」として、11月末日より評価版の提供開始することを発表します。

2011年7月より開発キットとして提供中の「Ubiquitous WPS」は、無線LAN製品の標準規格策定団体であるWi-Fi Alliance®が定めるWPSの最新規格である「WPS 2.0(正式名称 Wi-Fi Simple Configuration Technical Specification v2.0)」に対応しています。既に、大手家電メーカーのデジタルカメラやネットワークオーディオ向け開発キットでの採用実績があります。

今回、新たに無線LANルーターなどアクセスポイント側で必要となる「WPS Registrar」の機能を追加開発したことにより、従来から提供するアクセスポイントに接続する機器側用の「WPS Enrollee」(ダブリューピーエス エンローリー)と呼ばれる機能とあわせ、より幅広い無線LAN製品において「Ubiquitous WPS」をお使いいただけるようになります。

「Ubiquitous WPS」のWPS Registrar機能は、WPS Enrollee同様、非常にコードサイズが小さくパフォーマンスにすぐれ、システムリソースの少ない組込み機器でも搭載が可能です。ROM/RAMサイズの限られる組込み機器向けに最適に開発されています。また、組込み機器の開発において、どのようなOSであっても、開発者が容易に組込みできるように設計されており、非常に短期間で実装することが可能となります。

従来、パソコンなどを無線LANに接続する場合には、無線LANルーターなど、中継機器としてのアクセスポイントを経由する形式が一般的でした。しかしながら、パソコン以外にもスマートフォン、タブレット型端末などが急速に普及し、デジタルTV、プリンタ、デジタルカメラ、ヘルスケア機器などの組込み分野においても、無線LAN対応が拡がりつつあり、無線LANにより機器同士が直接接続するニーズも高まりつつあります。

また、Wi-Fi Alliance®においても、機器同士が直接接続するための標準規格となる「Wi-Fi Direct」が定められるなど、相互接続の普及に向けた環境整備も進んでいます。WPS Registrarは、WPS EnrolleeとともにWi-Fi Directに対応するための必須機能とされており、更に、Wi-Fi Directとは別に、無線LANアクセスポイントとしての振る舞いをソフトウェア的に実装することにより、無線LANルーターを介さずに機器同士が直接接続する場合においても、WPS Registrarが必要となります。

今回、ユビキタス社は、いち早くWPS 2.0に対応したRegistrarを開発し、組込み機器でのWi-Fi Direct機能やアクセスポイント実装時における、かんたん接続の実装を希望する製造事業者様向けに評価版をご提供いたします。

本製品は、本年12月までに製品としての出荷を開始する予定で、無線LAN機能の搭載をご検討されている

企業に幅広く拡販するとともに、無線LANモジュール製品など無線LAN関連ソリューションを展開されている企業との協業で拡販を目指します。

無線LANモジュールにおける製品展開としては、第一弾として、既に現行の「Ubiquitous WPS」の拡販で実績のある、株式会社村田製作所(本社:京都府長岡京市 代表取締役社長:村田 恒夫、以下村田製作所)との取り組みを進めています。Wi-Fi Directやアクセスポイント機能を要望される企業様向けに、村田製作所製の無線LANモジュール上で、Wi-Fiドライバと「Ubiquitous WPS」のRegistrar機能を組み合わせて提供していきます。

■株式会社村田製作所 モジュール事業本部 通信モジュール商品事業部

ソリューションサービス部 部長 児堂 義一様のコメント

「ユビキタス社が、既に採用実績のある Ubiquitous WPS に Registrar 機能を追加することを喜ばしく思っています。Enrollee 機能同様、小さなコードサイズで、低消費電力、低リソース組込機器への適応、移植性の良さを実現するソフトウェアとして提供されるものと期待しております。

組込み機器における無線 LAN 機能も多様化する方向にあり、従来、クライアント機能が中心であった低リソース組込み機器にもアクセスポイント機能を搭載することが可能となっており、更に Registrar 機能対応で無線 LAN の市場が拡大するものと思われま

す。弊社の Wi-Fi モジュール、ドライバ ソフトウェアとの組み合わせにて、組込み機器向けの無線 LAN ソリューション展開を幅広く進めて参ります。」

■株式会社ユビキタス 代表取締役社長 三原 寛司のコメント

「無線 LAN という接続方式の普及と技術革新により、今後、組込み分野においても無線 LAN 接続は更に普及するものと思われま

す。多くの機器が共通の接続機能を搭載することにより、無線 LAN ルーターなどの通信インフラを構成する機器がない環境でも、相互に接続し、機能を拡充、補完することで、機器が持つ機能や用途を上げることが可能になると思われま

※本リリースに記載されている会社名、製品名は各社の登録商標または商標です。

■WPS(Wi-Fi Protected Setup)とは

WPS(Wi-Fi Protected Setup) とは、煩雑な無線LANの設定を、一定の文字列(Pin code)入力や、接続する無線LANアクセスポイントと機器間で、同時にボタン(Push)を押すなどの行為により、簡単に行えるようにするために、Wi-Fi Allianceが標準化、機器が対応することで異なるメーカー間の機器であっても接続が可能になることを目的としたものです。

WPSに対応していない機器が無線LANアクセスポイントに接続しようとした場合、アクセスポイントに関する情報(SSID、パスフレーズ、暗号方式)といった非常に難しい情報を選択、入力する必要があります。このため、例えば入力手段や表示手段のない組込み機器で無線LAN機能を搭載する場合、WPSがないと、設定方法が非常に煩雑になり、またはパソコンなどの機器と一度接続し、設定をするなどの操作が必要となります。

WPSに対応することにより、組込み機器であっても容易に無線LAN機能の搭載が可能となる、非常に重要な機能となります。

■株式会社ユビキタス(証券コード3858)について

ユビキタス社は、2001年に創業された組込み機器向けを中心としたコンピュータソフトウェアの開発・ライセンスを行う企業です。ユビキタス社会において必要となる、ネットワーク関連(ホームネットワーク関連・暗号技術を含む)、データベース、システムの高速起動技術などの多数のソフトウェアを提供しております。他と差別化された製品群で、ユビキタス社会の要請に応えます。

■投資家の皆様へ

本プレスリリースは、弊社の定性的な業務進捗をお知らせするためのものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。弊社業績・経営指標の進捗・予想に関しては、取引所開示情報である、決算短信・マイルストーン開示などをご参照ください。

■ 本プレスリリースに関するお問い合わせ先

■ 株式会社ユビキタス 担当: 半田、川村

〒160-0023 東京都新宿区西新宿 1-23-7 新宿ファーストウエスト 16F

TEL: 03-5908-3451 FAX: 03-5908-3452 URL: <http://www.ubiquitous.co.jp/contact/>

■ 株式会社ユビキタス PR デスク (株式会社アクティオ内) 担当: 福澤、大蒲

TEL: 03-5771-6426 E-mail: ubiquitous-pr@actioinc.jp